



「自分には良いところがある」～全国学状の質問紙調査から～

校長室から見える富士山の頂にも雪が多く見られるようになりました。昨日から師走。今年もあとひと月です。ここ最近、寒さも一段と増してきましたので体調管理には気をつけたいものです。

さて、4月18日に3年生が実施した全国学力学習状況調査では国語・数学以外に学校や家庭での勉強や生活の様子について尋ねる質問紙調査が行われました。その結果が先日発表されたので、その概要をお知らせいたします。質問の回答形式の多くは「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の4択で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の割合を神奈川県全体と全国の平均と比較すると、次のような結果になりました。

□本校の結果で県・全国と比較して概ね上回っているもの

- ◎自分には良いところがあると思う
- ◎人が困っているときは進んで助ける
- ◎人の役立つ人間になりたい
- ◎いじめはどんな理由があってもいけないと思う
- ◎部活動の活動時間
- ◎友達関係に満足している
- ◎健康に過ごすために授業で学習したことを普段の生活で活かす
- ◎携帯電話やスマホで SNS や動画視聴している時間

□本校の結果で県・全国と比較して概ね下回っているもの

- ◇将来の夢や目標を持っている
- ◇学校以外での平日の学習時間
- ◇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
- ◇困りごとや不安を先生や学校にいる大人に相談できる
- ◇新聞を読んでいる



2年校内ダンス発表会

このような結果から本校生徒の姿として次のような特徴が読み取れるのではないのでしょうか。(もちろん1回の調査で決めつけることはできません。毎年結果が異なる点もありますので、一概には言えませんが、今後の教育活動に活かしていきたいと考えています。)

- <良い点> ○自己肯定感が高い生徒が多い
- 思いやりのある生徒が多い
- 授業で学んだことを生活に活かしている生徒が多い
- 部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多い
- <課題> ○将来の夢や目標が持てている生徒が少ない
- 平日の家庭学習の時間が短い生徒が多い
- 地域への関心が薄い生徒が多い
- 大人に相談できる生徒が少ない
- 携帯電話やスマホで SNS や動画視聴している時間が長い生徒が多い



8組作品

今回の調査で私が最もうれしかったことは「自分には良いところがあると思うか」という質問に対して肯定的に答えた生徒の割合が全国・神奈川県・藤沢市と比較して高かったことです。いわゆる自尊心(自己肯定感)は長い間、本校だけではなく、神奈川県や藤沢市の課題でもありました。その課題が今年度の3年生だけのデータかもしれませんが、藤沢市平均よりも5ポイント近く上回っていたことは大変素晴らしい結果であると同時に、この結果を一過性のものとしてはいけな

いと強く感じました。以前も述べさせていただきましたが、自尊感情はどんな時も自分を支える感情となります。今後も保護者の皆様にもお力添えをいただきながら、授業はもちろん、行事や日常の教育活動を通して子どもたちと感情を共有する場面を創出し、生徒一人ひとりの良さを認めることができたらと考えています。また、昨年に引き続き「人が困っているときは進んで助ける」生徒の割合が多いことも実にうれしく思います。日頃から本校の生徒が地域で困っている人に対して思いやりのある行動をしたことにより、学校にお礼の言葉をいただくことがよくあります。先日も3年生が、近所のお家で飼っている犬がいなくなってしまったということで、一緒に3時間くらい探し続け、無事見つかったというご連絡をいただきました。これも各家庭での子育ての賜物だと考えておりますが、今後も学校でも道徳の授業等を通して人のために自分のできることを実践できる生徒を育てていけたらと思っております。

一方で「一日（月～金）どのくらい携帯電話やスマホでSNSや動画視聴しているか」という質問に対して全国・神奈川県・藤沢市と比較して長く使用している生徒の割合が多かったことはマイナスの面だけではないかもしれませんが、本校生徒の課題の1つと考えます。特に「4時間以上」と答えた生徒は藤沢市平均と比べても2.6ポイント高く、21.9%でした。スマートフォンは今や多くの子どもたちにとっては、手放せない“道具”となっています。もちろん、正しく使えば、大変便利なものですが、使い方を誤ると本人はもちろん、周囲の人々にも悪影響を与えることとなります。そして、何よりその時間をもっと有効に使えるのではないかと考えます。この機会にご家庭でも今一度使い方を見直していただき、約束事等を確認していただければ幸いです。また、「困りごとや不安を先生や学校にいる大人に相談できるか」と回答した生徒の割合が若干低かったことに対しては、これまでも年2回の教育相談（二者面談）や定期的実施している学校生活アンケート等を通して子どもたちの声を聞く機会を持ってまいりましたが、今後も子どもたちに寄り添い、相談しやすい環境を充実させていけたらと思っております。なお、今年度も週3日（水・木・金）スクールカウンセラーが配置されております。生徒はもちろんですが、保護者の皆様も何かお困りごとやお悩みごとがございましたら、お気軽に担任までご連絡ください。さらに、「今、住んでいる地域の行事に参加しているか」については、相対的には参加率は低いかもしれませんが、吹奏楽部や合唱部、そしてボランティア部などが『ふるさとまつり』をはじめ、さまざまな地域の行事に参加して、活躍しております。日頃より本校生徒の健全育成に大きく寄与していただいている地域の方々に対して、今後さらに結びつきを深めるような取り組みもできたらと考えております。

学校運営協議会委員と『けやきの会』との座談会から

11月22日（金）に第4回学校運営協議会が開かれました。今回は授業参観の後、『けやきの会』本部役員およびサポーターの皆様と座談会を行いました。その内容を次のとおり紹介します。

①「滝の沢中学校の良い点、素晴らしいと思う点」について

- ・学校教育目標『笑顔で挨拶』が浸透していること
- ・地域においてもあいさつができる生徒（防犯にもつながる）
- ・先生と生徒の信頼関係
- ・自分の意見を持ち、伝えることができる生徒
- ・学校長の学校経営方針の明確さ
- ・生徒同士の学年を超えた交流
- ・不登校生徒への対応（かめのさわルームなど）



②「今後さらに伸ばしていきたい点、改善すべき点」について

- ・地域の方とのつながりと地域へさらに開いていくこと
- ・保護者と教職員の信頼関係の構築
- ・保護者、教職員、生徒の交流会や懇談会を増やすこと
- ・設備の老朽化
- ・お便り等の電子化
- ・不登校生徒の学習のサポート



『けやきの会』との座談会によって、改めて『保護者からみた滝の沢中学校とは』を知ることができました。今後も本校が抱える課題について、学校運営協議会での熟議、そして保護者の皆様のご協力をいただきながら、課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。

☆3年生にとっては進路決定において重要な時期です。お子様と向き合っていただければ幸いです。